

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会

2021年度第7回データベース委員会 議事録

日時:2021年12月08日(水) 19:00~21:20

場所:オンライン会議(Zoom)

出席委員(敬称略):筑田(担当理事)、金村(委員長)、岩崎、石井、大鳥、細金、吉井、海渡、山田、上田、町野、伊藤、有馬、藤田(アドバイザー)、高橋(ファスト)、種市(アドバイザー)、渡辺(アドバイザー)、松山(アドバイザー)

欠席委員(敬称略):今釜、渡邊、波呂(アドバイザー)

陪席(敬称略):渡辺(日本側彎症学会)、中川(JOA 脊椎脊髄病医委員会)、新村(JSSR-DB 事務局)

報告事項

1. 理事会報告 筑田(担当理事)

11月に合併症調査が始まった。JSISとの連携、新技術の統合にむけて進める方向性を報告。

今後指導医の要件とリンクする討議も行われた。

2. 前回議事録の確認

資料1

3. 各レジストリ状況登録状況

1) ACR

資料2

全体で217例中202例登録。未登録15例。

2年経過した例が52例。登録完了51例。

上記の解析研究をJSSR、JOAで報告予定。

2) 頸椎人工椎間板

資料3-1, 3-2

登録施設は234施設。(前回は160施設)

→新規登録施設に関して頸椎人工椎間板の研究計画に参加していただくことを本データベース委員会で承認。→HP上で更新する。

登録状況

287例中264例登録。登録率92.0%。

重篤な再手術は血腫関連の3例、インプラント関連でのトラブル報告は現状ではない。解析研究に関して2022年3月を目安に申請予定。

3) OLIF51

資料4

登録参加施設:5施設

登録状況：91 症例中91 症例登録済(100%)

フォローアップも順調に登録できている。

4. JSSR-DB 2021 進捗状況

資料5,6

1) レジストリシステム改修状況

- ✓ 「主たる術式」「従たる術式」の定義に関して報告
- ✓ 術式加算・追加→手術追加事項に変更。その他を削除する。
- ✓ 同一手術で別部位の主たる術式が2つ入力された場合。2階部分が展開されない→今後の検討課題。
- ✓ 腰椎黄色靭帯骨化症の病名を追加する。

2) 紙調査票

- ✓ 紙調査票を作成し、JSSR-DB HP上に公開。問い合わせ内容に応じて、適宜内容をブラッシュアップしている。現在は簡易版1.6版、詳細版1.2版。11月24日更新済。
- ✓ PDF & Excelで作成し、ホームページにアップロード済

3) JSSR-DB HP

- ✓ 症例登録マニュアル。1.4版。11月24日更新済。
- ✓ JSSRホームページ上のJSSR-DB HPバナーリンクの位置に関して理事会で修正について承認された→田中広報担当理事が対応してくださる方針。

4) JSSR-DB事務局問い合わせ

- ✓ JSSR-DB事務局用のレンタルサーバーを契約、ドメインを取得した
- ✓ ドメインはjssrdb.or.jp

5) データクレンジングのためのインフラ整備状況

- ✓ DB委員会委員長（金村委員長）。日整会固定IP-NW VPN接続済
- ✓ 事務局 浜松医科大学 固定IP取得済。名古屋大学 固定IP取得検討中（日立）

6) JSSR-DB登録状況

- ✓ 2021年12月7日現在4029例登録。

審議事項

1. JSSR-DB 2021 検討課題

資料7

1. システム

上記JSSR-DB 2021 進捗状況の報告事項と一緒に審議済

2. 症例登録締切

3. データクレンジング

2. JSSR-DB 2022 年度の方針

資料5

- ✓ 登録対象期間の決定
 通年の方向性（DB委員会決議 理事会承認済み）
- ✓ 研究計画書2022年度版
 JSSR-DBとしての研究計画書は不要（項目の検討のみ）
 2022年1月 JOANR研究計画書 日整会倫理委員会申請

3. 頸椎人工椎間板DB2022年度方針 資料8

1. 1椎間

- ✓ 現行のものは2021年12月31日までで新規登録施設の追加は終了。
- ✓ 2022年4月よりJSSR-DBに移行する
- ✓ 入力項目:現状の新技术レジストリーをほぼ踏襲する。

2. 2椎間

- ✓ 2021年11月中旬から2022年3月31日現行新技术レジストリーに登録する
- ✓ 2022年4月よりJSSR-DBに移行する

- ✓ K134-3：人工椎間板置換術（頸椎）に関しては使用インプラント入れる入力項目の作成を検討。詳細なインプラント情報を入れていくシステム構築に関して今後検討。

4. JSIS-DB との連携 資料9

- JSIS側：DB委員会決議 理事会承認済み
- JSSR側：DB委員会決議 理事会にて連携を進める方向で了解済

5. JOA 脊椎内視鏡手術インシデント報告との連携 資料10

- 脊椎内視鏡手術インシデント報告は2005年からJOA脊椎脊髄病医委員会で独自に行なっていたが、今後はJOANR/JSSR-DBに合流する方針がJOA脊椎脊髄病医委員会で承認された。
- 入力項目に関しては、今後の合同WGで項目の調整を行う。
- 紙ベースの調査は2021年（2021年1月から12月）を最終の予定。
- この連携に関するJOANR研究計画書の変更については、対象となる術式変更など主要調査項目に影響を及ぼさない改訂（revision）として進める。
- 12月16日のJOA理事会で承認されれば正式決定となる。
- JSSR-DB委員会で脊椎内視鏡手術インシデント報告を含めることが本委員会で委員の賛同を得て承認。

6. 日本側彎症学会レジストリ・アウトカムとの連携

- 日本側彎症学会レジストリ・アウトカム委員会では数年に1度、M and M reportを行なっている。今後、JOANR/JSSR-DBの合併症調査に合流する方針を検討している。
- 日本側彎症学会EOS委員会では、EOS例に関してJOANRの2階部分にJSSR-DBとは別にレジストリ作成を検討している。

次回開催日

1月 19 日 (水) 19 時～